

平成 23 年度 政策評価結果

平成 23 年 9 月

京 都 市

1 政策評価制度とは

(1) 政策評価制度の位置付けと役割

京都市では、京都市基本計画（第1期〈2001-2010〉、第2期〈2011-2020〉）に基づき、市民に開かれた効果的な市政を推進するため、行政評価制度の導入と充実に取り組んできました。

平成19年6月には、政策評価、事務事業評価をはじめとする7つの評価制度を恒久的・継続的な取組とするため、「京都市行政活動及び外郭団体の経営の評価に関する条例（行政評価条例）」を施行しました。

政策評価制度は、**政策の目的がどの程度達成されているかを評価し、その結果を市民の皆様公表するとともに、より効果的な市政の運営や政策の企画・立案に役立てることを目的**としています。すなわち、京都市が京都市基本計画に基づいて取り組んだ**政策や施策のそれぞれの分野において**、京都市をはじめとする各種の行政活動や民間の諸活動などによって**市民生活の状態が今どのようになっているのか**を各種の指標やアンケート調査を基に**把握し、分析して評価を行い、次の政策、施策の展開に役立てるために実施している**ものです。

(2) 取組経過

平成15年度 試行実施

平成16年度～ 本格実施

平成23年度 5月 市民生活実感調査を実施

9月 政策評価結果を公表

（今後の予定）

政策評価委員会に評価結果を報告し、

来年度の政策評価方法の改善方針等について審議

(3) 政策評価の対象と手法

ア 評価の対象

京都市基本計画の政策体系をベースに、特定の行政課題に対応するために本市が目指すべき基本的方向である**政策（27項目）**と、政策をより具体化した行政活動の目標となる**施策（114項目）**について、両者を評価します。

イ 評価の手法

客観指標評価と市民生活実感評価の2つの手法による評価結果を総合的に勘案し、目的の達成状況を5段階で評価します。

なお、5段階の総合評価は、

- A：目的が十分に達成されている
- B：目的がかなり達成されている
- C：目的がそこそこ達成されている
- D：目的があまり達成されていない
- E：目的が達成されていない

を表します。

【客観指標評価】 市内の学生数が全国の学生数に占める割合など、**各政策・施策の状況を統計的な数値等により表現した客観指標を設定し、その目標達成度等で評価します。**

【市民生活実感評価】 市の仕事についてどう思うかではなく、「大学のまちとして学びの環境が充実している。」など、京都市基本計画の政策体系に基づき、**市民生活が今どのようになっているかをお尋ねする市民生活実感調査を実施し、その結果に基づき評価します。**

2 平成23年度の取組状況

京都市政策評価委員会から平成23年4月に京都市長に提出された「政策評価制度に関する意見―「はばたけ未来へ！京（みやこ）プラン（京都市基本計画）」に対応した政策評価制度の実施に向けて―」（以下「京都市政策評価委員会からの意見」と言います。）に基づき、平成23年度から「はばたけ未来へ！京プラン（京都市基本計画）（第2期）」（以下「京プラン」と言います。）の政策体系をベースとした政策評価を実施しました。

(1) 市民生活実感調査

ア 設問

京都市政策評価委員会からの意見に基づき、「京プラン」の「政策の体系」中「みんなでめざす10年後の姿」（当該政策分野において市民と行政が協働で実現を目指す10年後の姿。政策が実現した状態。）一つにつき1問作成しました。

イ 調査対象

20歳以上の市民3,000人（住民基本台帳及び外国人登録データから無作為抽出）を対象に郵送で調査票を送付し、回収しました。

ウ 調査期間

平成23年5月12日～6月3日

エ 回収状況

有効回答数 1,157 （回収率 38.6%）

年度	有効回答数	回収率
23	1,157	38.6%
22	1,222	40.7%
21	1,272	42.4%
20	1,486	37.2%
19	972	32.4%
18	1,099	36.6%
17	1,129	37.6%
16	1,237	41.2%

※調査対象者数
3,000人（20年度は4,000人）

(2) 客観指標

京都市政策評価委員会からの意見を踏まえ、客観指標の抜本的な見直しを行いました（4ページに意見の要点を掲載）。「京プラン」をベースに、政策・施策の各レベルに応じた目標を明らかにし、その目標に適切に対応する指標を新たに設定する作業を行いました。

ア 客観指標の見直し

(ア) 政策レベルの指標の設定

従来の政策指標は、施策指標の中から主要なものを選んで設定していましたが、今回から、京都市政策評価委員会からの意見に基づき、施策指標とは別に、政策

の目標に対応した指標を、1以上で当該政策に応じた適切な個数設定することとしました。

(1) 施策指標の質の向上

従来の施策指標は、各施策につき3から5個程度の指標と、補足的な準指標を設定していました。今回からは、指標の質の向上を図るため、京都市政策評価委員会からの意見に基づき、1以上で当該施策に応じた適切な個数の指標を設定するとともに、同一施策に係る複数の指標の中で当該施策に占めるウエイトが高いものとそうでないものが混在する場合に、それを選別して施策指標のウエイト付けを行うこととしました。これに伴い、準指標は廃止することとしました。

客観指標に関する京都市政策評価委員会からの意見（要旨）

- 政策・施策それぞれのレベルに応じた別の客観指標を設定すること。
- 1以上で当該政策又は施策に応じた適切な個数の指標を設定すること。
- 同一施策に係る複数の指標の中で当該施策に占めるウエイトが高いものとそうでないものが混在する場合に、妥当な評価結果が導き出されるよう、ウエイト付けを導入すること。

イ 客観指標の数

上記のとおり客観指標の抜本的な見直しを行った結果、今回新たに設定した指標の数は、政策・施策全体で294となりました。このうち33の指標については、政策・施策の今後の展開のために新たに実態調査を開始すること等から、次回以降、調査の実績値を踏まえた目標値を設定し、客観指標評価を行うこととしています。

(3) 評価票

施策評価票の「この施策を構成する事務事業」欄に掲載する事務事業評価結果について、従来は前年度分を掲載していましたが、今回は同年度分を掲載しました。

3 評価結果

※この冊子の最後に参考資料として「政策・施策評価結果一覧」を掲載しています。

(1) 政策の評価

政策27項目の評価結果の内訳

A	B	C	D	E	計
2 (7.4%)	19 (70.4%)	6 (22.2%)	0	0	27

○ A評価の政策

大学（11）、**保健衛生・医療**（17）の2政策がA評価となりました。

大学については、客観指標としている市内学生数の全国学生数に占める割合がa評価となり、市民生活実感評価の「大学のまちとしての学びの環境の充実」と「大学の研究成果の高さ」に関する設問の回答結果がa評価であったことによります。

保健衛生・医療については、客観指標としている健康寿命（男女別）がa評価となり、市民生活実感評価の「公共の場での禁煙の進展」に関する設問の回答結果がa評価であったことによります。

※（ ）の数字は、「京プラン」の政策体系に基づく政策の番号です（以下同じ）。

(2) 施策の評価

施策114項目の評価結果の内訳

A	B	C	D	E	計
22 (19.3%)	62 (54.4%)	28 (24.6%)	2 (1.7%)	0	114

ア 施策の総合評価結果が高かった政策分野

政策を構成する施策の総合評価結果が全体的に高かった政策分野は、**環境**（1）、**大学**（11）、**学校教育**（18）の3政策でした。**環境**は、当該政策を構成する3施策のうち2施策がA評価で、自然環境等の保全と、循環型社会の構築に関する施策で高い評価を受けました。**大学**は、4施策中2施策がA評価で、学び住み続けたいとなる「大学のまち」の実現と、大学の国際化に関する施策で高い評価を受けました。**学校教育**は、4施策中2施策がA評価で、市民ぐるみの教育の推進と、子どもたちに「生きる力」を育む教育の推進に関する施策で高い評価を受けました。

イ 施策の総合評価結果が低かった政策分野

政策を構成する施策の総合評価結果が全体的に低かった政策分野は、**市民生活とコミュニティ**（4）、**スポーツ**（8）、**住宅**（24）の3政策でした。**市民生活とコミュニティ**では、地域コミュニティの活性化のための担い手づくりが、**スポーツ**では、市民がトップスポーツに身近に触れる機会の確保が、**住宅**では、平成の京町家（京都型の環境配慮住宅）の普及が、それぞれ主な課題となっています。

4 評価結果を市政運営へ活用

評価結果については、来年度の予算編成、各局区等の政策推進などの際に、重要な情報として活用していきます。

5 第三者機関の意見 ～京都市政策評価委員会による制度の改善，充実～

今後、第三者機関である京都市政策評価委員会から今回の政策評価結果に関する御意見を頂き、来年度に向けて制度の充実，改善を行います。

京都市政策評価委員会委員（敬称略・五十音順）

おおしま	さちこ	楽洛まちびら会事務局，スーク創生事務所代表
大島	祥子	
かざま	のりお	同志社大学政策学部教授
風間	規男	
かわむら	りつこ	立命館大学国際関係学部准教授
河村	律子	
くぼた	よしお	京都府立大学公共政策学部准教授
窪田	好男	
こしむら	みほ	公募委員
越村	美保子	
ふくにし	のぶし	公募委員
福西	性次	
よこい	やすし	あずさ監査法人本部理事
横井	康	

※平成23年度改選

次の参考資料は、「政策評価制度」のホームページに収録しています。

（「政策評価制度」ホームページ <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000035589.html>）

なお、9月27日（火）から京都市情報公開コーナーにおいても公開します。

参考資料

- （1） 政策の評価票，施策の評価票
- （2） 客観指標基礎データ

参考

政策・施策評価結果一覧

政策	政策の 総合 評価	施策		施策の 総合 評価
		番号	施策名	
1 環境	B	0101	自然環境とくらしを気遣う環境の保全	A
		0102	低炭素型のくらしやまちづくりの実現	B
		0103	ごみを出さない循環型社会の構築	A
2 人権・男女共同参画	B	0201	すべてのひとの人権を尊重する人権文化の構築	C
		0202	人権尊重の理念を自主的な行動につなげる取組の推進	C
		0203	すべての市民がいいきと活動できる取組の推進	C
		0204	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	B
		0205	女性に対するあらゆる暴力の根絶	B
3 青少年の成長と参加	C	0301	青少年の自主的な活動の促進	B
		0302	課題に直面する青少年の総合的支援の推進	C
		0303	青少年の成長を支援する環境づくり	B
4 市民生活とコミュニティ	B	0401	いいきと活動する地域コミュニティづくり	C
		0402	すべての市民活動団体の活性化	C
		0403	地域コミュニティと京都市との新しいパートナーシップ	C
5 市民生活の安全	B	0501	生活安全（防犯・事故防止）の推進	B
		0502	消費生活の安心・安全の推進及び消費者の自立支援	C
6 文化	C	0601	すべての市民が京都のまちを支え、かつ誇りにできる文化芸術創造のまちづくり	C
		0602	歴史に培われた和の文化の継承と新たな創造活動の支援	B
		0603	世界的な交流を視野に入れた文化芸術環境の向上	C
		0604	かけがえのない文化財の保護、活用と伝承	A
7 スポーツ	C	0701	それぞれの年齢や個性、環境に応じてスポーツやレクリエーションを楽しんでいるまちづくり（「するスポーツ」）	C
		0702	トップレベルのスポーツに身近に触れられているまちづくり（「みるスポーツ」）	C
		0703	多様なスポーツ活動を支え合っているまちづくり（「支えるスポーツ」）	C
8 産業・商業	C	0801	多様で活力ある中小・ベンチャー企業の育成と発展支援	A
		0802	産学公の連携による新産業の育成・振興と新事業の創出	A
		0803	京都の強みを生かした事業環境の整備	A
		0804	伝統産業の活性化と新たな展開の推進	B
		0805	地域の特性に応じた商業振興	B
		0806	ソーシャルビジネス（社会的企業：社会問題の解決を目的として収益事業に取り組む事業体）への支援	C
		0807	市民に安心していただける流通体制の強化	A
		0808	雇用の維持・確保と新たな雇用創出に向けた取組の推進	B
9 観光	B	0901	観光スタイルの質の向上	B
		0902	観光都市としての質の向上	A
		0903	国際MICE都市～国際会議、企業研修旅行、イベント等による国際集客都市～への飛躍	B
10 農林業	B	1001	産業として魅力ある農林業の構築と担い手の育成	B
		1002	環境や社会に貢献できる農林業の育成	B
		1003	市民との共汗で築く農林業	B
11 大学	A	1101	京都で学び、住み続けたい「大学のまち」の実現	A
		1102	大学の国際化に向けた人材育成と留学生等の受入拡大	A
		1103	学生のパワーで活気あふれる「学生のまち」の実現	B
		1104	産業の振興と大学教育の充実にに向けた産学公地域連携の推進	B

政策	政策の 総 合 評 価	施策		施策の 総 合 評 価
		番号	施策名	
12 国際化	B	1201	世界中のひとびとを引き寄せる京都の魅力の向上と発信	B
		1202	市民主体の国際交流・国際協力の推進	A
		1203	外国籍市民等がくらしやすく、活躍できる多文化が息づくまちづくりの推進	B
13 子育て支援	B	1301	市民ぐるみ・地域ぐるみで子育てを支え合う子育て支援の風土づくり	A
		1302	子どものいのちと人権が大切にされるまちづくり	B
		1303	次世代を育むすべての家庭を支援し支え合えるまちづくり	A
		1304	子どもを安心して生き健やかに育てることのできるまちづくり	B
		1305	子どもの健全育成のための環境づくり、放課後の子どもたちの居場所づくり	B
14 障害者福祉	B	1401	お互いに認め合い支え合ってくらすまちづくり	B
		1402	自立した地域生活への移行促進	B
		1403	生きがいをもって働くことができる社会づくり	B
		1404	生活しやすい社会環境の整備	B
15 地域福祉	C	1501	地域の福祉ニーズの把握	B
		1502	地域におけるつながりの構築	B
		1503	関係者の連携・協働の推進	B
		1504	地域福祉を通じた安心・安全のまちづくり	C
16 高齢者福祉	B	1601	高齢者の尊厳を保つ社会の構築	B
		1602	活力ある長寿社会の実現	C
		1603	高齢者を支えるネットワークの推進	B
		1604	介護サービスの充実による豊かな生活の実現	B
		1605	魅力ある介護現場の実現	A
17 保健衛生・医療	A	1701	市民の健康づくり活動の推進	B
		1702	保健医療サービスの充実	B
		1703	食や生活環境の安全・安心の確保	A
		1704	健康危機に対する安全・安心の確保	B
18 学校教育	B	1801	市民ぐるみの教育の推進	A
		1802	子どもたちに「生きる力」を育む教育の推進	A
		1803	教職員の資質・指導力の向上	B
		1804	新しい学習環境づくり	B
19 生涯学習	B	1901	市民だれもが参加できる「学びのネットワーク」の拡充	A
		1902	学びが社会に還元されるしくみづくり	B
		1903	子どもを共に育む気運づくり	B
20 歩くまち	B	2001	世界トップレベルの使いやすさをめざした公共交通の再編強化	B
		2002	歩く魅力を最大限に味わえるような歩行者優先のまちづくり	B
		2003	歩いて楽しいくらしを大切にするライフスタイルへの転換（「スローライフ京都」 <small>プロジェクト</small> 大作戦）	B
		2004	地下鉄の魅力向上とまちづくりへのさらなる活用	B
		2005	歩行者と共存可能な自転車利用の促進	C
21 土地利用と都市機能配置	B	2101	便利でくらしやすい生活圏づくり	B
		2102	商業・業務機能が集積したにぎわいのある魅力的なまちづくり	B
		2103	創造を続ける南部地域のまちづくり	C
		2104	市内各地における個性豊かで魅力的なまちづくり	C
		2105	まちづくりを支えるしくみづくり	C

政策	政策の 総合 評価	施策		施策の 総合 評価
		番号	施策名	
22 景観	B	2201	山紫水明の自然景観の保全	A
		2202	品格のある市街地景観の形成	B
		2203	歴史的な町並みや京町家等の保全	C
		2204	無電柱化等による魅力あふれる道路空間の創出	C
		2205	市民とともに推進する景観まちづくり	B
23 建築物	B	2301	安全な新築建築物の供給	B
		2302	既存建築物の安全性の向上	B
		2303	細街路対策による災害に強いまちづくり	C
		2304	環境に配慮され、だれもが使いやすい建築物の誘導	A
		2305	公共建築物の先導的整備	B
24 住宅	B	2401	京都らしいすまい方の継承	D
		2402	住宅ストックの良質化のための適正な維持管理や更新の支援	B
		2403	既存住宅の流通活性化のための条件整備	B
		2404	住宅・住環境の安全性の向上	C
		2405	重層的な住宅セーフティネット（安全網）の構築	C
		2406	中・大規模の市営住宅団地のマネジメント	D
25 道と緑	C	2501	幹線道路ネットワークの充実	B
		2502	健やかな生活が実感できる緑化の推進	B
		2503	都市活動を支える社会資本の維持管理	C
		2504	まちのにぎわいと潤いを創出する市街地環境の整備	C
26 消防・防災	B	2601	火災を未然に防止して市民のいのちとくらしと財産を守る予防消防の推進	B
		2602	あらゆる災害による被害を最小限に抑える消防活動体制の充実強化	B
		2603	市民への応急手当の普及啓発と救急体制の充実による救命効果の向上	B
		2604	地域の災害対応力の向上をはじめとする防災危機管理体制の充実	C
27 くらしの水	B	2701	安全・安心な水道・下水道の構築	B
		2702	環境負荷の少ない水道・下水道の構築	B
		2703	水道・下水道の機能維持・向上	B
		2704	市民ニーズに対応した上下水道サービスの推進	B
		2705	上下水道事業の経営基盤の強化・安定	A
		2706	水辺環境の整備	A
		2707	水共生の取組の推進	B